



2017年トラックの日 in 東神トラックST 健康チェック&宣伝・対話・署名行動を実施

神奈川県南支部は、10月6日(金)に神奈川県大和市内の東神トラックステーション(ST)の敷地内で恒例のトラックの日の行動を実施しました。

行動参加者は、県南支部の8名と県本部の高橋書記長、ダンプ支部の稲川委員長、神奈川県北中央医療生活協同組合の3名に加え、事前の連絡がなく突然現れた中央本部の福富書記次長の合計14名でした。

今年の行動は東神トラックSTの建て替え工事がはじまっていたため、例年は室内で行っていた健康



健康チェック活動を行う看護師さん

チェック活動は屋外での実施となりました。この日の天候は、あいにくの肌寒い曇り空で午後からは雨の予報もあって、健康チェック活動に協力していただいた神奈川県北中央医療生協の看護師さんは寒さをこらえての取り組みになりました。

また、工事中でレストランや浴室、仮眠所、ランドリーなどの施設がないためSTに立ち寄るトラックは例年より少なく、立ち寄っても車内で仮眠をしているドライバーがほとんど、時折簡易トイレの利用やゴミ捨てのために車外に出てくるくらいです。こうした状況が影響して、健康チェックの受診者は6名、トラック労使の請願書名は76筆、トラック職場の春闘アンケート回収は1名と例年より低調でした。



行動を終わった後に参加者による記念写真

勤通大(憲法コース)第2回学習会を開催!

県南支部は、10月7日に2017年・勤労者通信大学(憲法コース)の修了レポート提出をめざして第2回学習会を川崎市内で行いました。参加者は、受講者7名中6名(三昭運輸分会3名、内外液輸分会2名、東進産業分会1名)とチューターの赤羽特別執行委員です。

第1回レポートは受講者全員が提出済みで、この日の参加者6名からは採点結果も上々との報告がありました。この日は、修了レポートに対応する学習会でしたが、解答の記入だけを目的とするのではなく、テキストとチューターが準備した資料も使い受講者が問題に対する理解を深められるように学習会をすすめる確信をもって終わることができました。



学習会を終えてほっと一息する受講生



被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、 核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、 すべての国に求めます。



人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ましたが、それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かす、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名前	住所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031